

1. 科目名（単位数）	教育課程論（初等）（2 単位）	3. 科目番号	EDTE1103 SJTC3411
2. 授業担当教員	後藤 泰博		
4. 授業形態	講義、討議や発表学習を中心に	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係	特になし		
7. 講義概要	「学校において編成する教育課程とは、学校教育の目的や目標を達成するために、教育の内容や児童の心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した学校の教育計画である。」ことを理解するとともに、児童や地域の実態に即し目指す資質や能力を明らかにするとともに、カリキュラムマネジメントの視点から各教科の内容を教科横断的に組織する必要性について理解する。また、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について様々な視点で考えることができる。		
8. 学習目標	1. 学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。 2. 教育課程編成の基本原理及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する。 3. 教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。		
9. アサイメント （宿題）及びレポ ート課題	学習前に教科書や資料を読むことが好ましい、レポートについては、講義の中で説明を行うが冬期休暇の前に800字程度、期末に1200字程度のレポートを提出する。		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 文部科学省『小学校学習指導要領解説「総則」』（文部科学省 HP よりダウンロードすること） 必要に応じてその都度、資料を配布。 【参考書】 小学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示 文部科学省） 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成 29 年 3 月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省) 幼稚園教育要領(平成 29 年 3 月告示 文部科学省)		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1 教育課程の意義について理解し、説明できる。 2 近代及び現代日本の教育課程の歩みと教育課程をめぐる現状と課題を理解し、説明できる。 3 学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解、説明できる。 4 指導案の作成、模擬授業の実施を通して、学習過程や成果などを PDCA サイクルにて考えることができる。 ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。		
12. 受講生への メッセージ	「教育課程」というと、一見退屈で難しそうに見えますが、教育活動の具体的な計画のことで、教育の理念を日々の実際の授業で実現させていくための大切なものです。ぜひ興味をもって取り組んでください。		
13. オフィスアワー	初回講義時に通知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション 教育課程とは ・「教育課程論」の目標及び学習内容と今後の予定、授業の進め方を確認する。	事前学習	シラバスを読んで、学修の概要を知る。
		事後学習	「教育課程」について自分の考えを整理する。
第 2 回	教育課程とその類型 教育課程の意義 教育課程の類型 教科型・経験型	事前学習	カリキュラムにはどんな種類があるのか調べておく。
		事後学習	教育課程の意義と類型についてまとめる。
第 3 回	西洋における教育課程と実践① ベスタロッツとフレーベル ヘルバルト ニール、シュタイナー、モンテッソーリ	事前学習	西洋（ヨーロッパ）における著名な教育活動家について調べておく。
		事後学習	学習内容をまとめる。
第 4 回	西洋における教育課程と実践② デューイの「問題解決学習」 キルパトリックの「プロジェクトメソッド」 ブルーナーの「発見学習」 コミュニティースクール	事前学習	西洋（アメリカ）における著名な教育活動家について調べておく。
		事後学習	学習内容をまとめる。
第 5 回	日本の教育課程の変遷 明治期の学校と教育課程 大正自由教育における教育課程 戦時下の教育と教育課程 戦後の教育改革と教育課程	事前学習	日本尾教育の歴史について簡単に復習しておく。
		事後学習	日本の教育課程の変遷をまとめる。
第 6 回	資質・能力の育成と教育課程 子どもの学習メカニズムと授業 宣言的知識と手続き的知識	事前学習	子どもの学習について予め調べておく。
		事後学習	教育課程と授業と子供の学習についての関連をまとめる。
第 7 回	単元計画と授業づくり 良い授業の条件 単元とは何か 教科書を使いこなす	事前学習	授業について考えておく。
		事後学習	「単元」「授業」「教科書」の教育課程上の位置づけについて自分なりに理解したことをまとめる。
第 8 回	学習指導要領・幼稚園教育要領について学ぶ① 「深い学び」と資質・能力の育成	事前学習	学習指導要領・幼稚園教育要領に目を通しておく。
		事後学習	「深い学び」についてまとめる。
第 9 回	学習指導要領・幼稚園教育要領について学ぶ② 「深い学び」にアプローチする子供の姿」 授業実践事例	事前学習	学習指導要領・幼稚園教育要領に目を通しておく。
		事後学習	学習内容について感想をまとめる。
第 1 0 回	学習指導要領・幼稚園教育要領について学ぶ③ 「深い学び」を具現する授業デザイン プロセスの充実 「深い学び」を支えるチーム力 授業研究の質的転換	事前学習	学習指導要領・幼稚園教育要領に目を通しておく。
		事後学習	授業デザインの重要性について学んだ内容をまとめる。

第 1 1 回	ICT と教育課程 ICT と情報の 2 領域 3 分野 ICT を活用した教育課程	事前学習	ICT を活用した授業について NET 等から事前に調べておく。
		事後学習	教育課程上の ICT の活用についてまとめる。
第 1 2 回	年間指導計画とカリキュラム・マネジメント カリキュラム・マネジメントとは PDCA サイクルの意味と活用	事前学習	カリキュラム・マネジメントについて予習しておく。
		事後学習	カリキュラム・マネジメントと PDCA サイクルの関係性についてまとめる。
第 1 3 回	授業力を支える校内研修と学級経営 校内研修とは 校内研修の成果を生かした教育課程	事前学習	校内研修について予め調べておく。
		事後学習	校内研修の重要性についてまとめる。
第 1 4 回	教育課程の編成 教育課程の編成と意義 特色ある教育活動と教育課程の編成	事前学習	NET 等から、教育課程がどのようなものか確認しておく。
		事後学習	教育課程の編成やその意義をまとめる。
第 1 5 回	社会における学校の役割とカリキュラム 知識基盤社会の到来 今後の課題	事前学習	これまでの学習を振り返り、課題について考えておく。
		事後学習	学習内容をまとめ、これからの日本の教育課題について自分の意見を持つ。